

臨床検査を通して切れ目のない臨床支援を

検査室では、最新の検査機器を装備し、各種認定資格を有した臨床検査技師を中心に、高い技術力を持って検査を行っています。全部で100項目にもおよぶ検査を24時間体制で実施しており、365日切れ目のない臨床検査で県立病院の高度急性期医療を支援しています。

今年は、多項目血球自動分析装置が新しくなり、今まで以上に白血球、赤血球、血小板などの正確な数値とその幅広い情報を報告できるようになりました。

また、夜間でも緊急に輸血を必要とされる場合は患者さんそれぞれに合う安全な輸血用血液を速やかに供給できる体制を整えています。

検査室ではそのほかに、心電図・呼吸機能・聴力・超音波・脳波などの生理検査や感染の原因となる細菌やウイルスの検査、そして病原菌に有効なお薬(抗菌薬)を調べる検査も行っています。

患者さんが手術や内視鏡検査を受けられた際には、採取された細胞が良性か悪性かを調べる病理細胞診検査、さらには腫瘍に対するお薬が効くかどうかを調べる遺伝子検査も行っています。

私どもはこのような臨床検査を通して、患者さんに寄り添った臨床支援ができるよう努めてまいりますので、今後ともよろしくお願い致します。

検査室長
押野 寛美 (おしの ひろみ)

■専門分野
臨床検査技師
認定輸血検査技師

主なイベント・セミナーのご案内

2020.01
03

- 1月10日(金) 認定看護師研修会(慢性呼吸器疾患看護) 対象/看護師等
1月18日(土) 市民公開講座 もっと知ろうがんのことー血液がん/遺伝医療(ゲノム医療)ー
対象/一般県民 於/フェニックス・プラザ
1月23日(木) 開放型病床カンファレンス 対象/地域医療連携医
1月のボランティアコンサート開催日 対象/一般県民 於/県立病院1エントランスホール
10日(金)オカリナ二重奏 16日(木)アルトサクセスとピアノ
16日(木)北陸高等学校 24日(金)歌とピアノ
2月25日(火) 認定看護師研修会(新生児精神科看護) 対象/看護師等
2月27日(木) 開放型病床カンファレンス 対象/地域医療連携医
2月のボランティアコンサート開催日 対象/一般県民 於/県立病院1エントランスホール
14日(金)オカリナ二重奏 20日(木)アルトサクセスとピアノ
28日(金)歌とピアノ
3月 5日(木) 出前講座 対象/地域医療連携医 於/織田病院
3月13日(金) 認定看護師研修会(がん化学療法看護・糖尿病看護) 対象/看護師等
3月のボランティアコンサート開催日 対象/一般県民 於/県立病院1エントランスホール
10日(火)ハーモニカ、尺八、キーボード 13日(金)オカリナ二重奏
17日(火)ギター弾き語り 19日(木)アルトサクセスとピアノ
27日(金)歌とピアノ

▶お問い合わせ先

☎0776-54-5151(代表) <http://fph.pref.fukui.lg.jp>

Index

- P2~ 特集「腎臓病の初期から末期まで
充実した多職種体制で対応」
- P4 ドクターにききましたっ！
脊椎疾患に対する低侵襲手術/ 市民公開講座のご案内
- P5 県立病院チーム医療
AST(抗菌薬適正使用支援チーム)
- P6~ 地域医療連携通信 / 交流会のご報告
- 裏表紙 教えて看護師さん
「インフルエンザ予防のためにできること」ちょこっと解説

Compass

この広報誌が「皆様と当院の輪(和)を描くものとなり、また皆様にとって有用な情報を提供することで、「今後の通るべ」となれるよう思いを込めて「コンパス」と名付けました。



透析予防診療チーム

腎臓の悪い方が増加

腎臓が悪くなると、透析療法（あるいは腎移植）が必要になりますが、透析患者数は増加の一途をたどっています。2017年末の日本透析医学会の施設調査結果では33万5千人に達し、国民378.8人に1人が透析患者であることとなります。全国で年間約4万人の方が透析導入になっています。当院では毎年約50人の方を透析に導入しており、北陸では最も多い施設の一つです。透析導入を減らすことは急務です。

慢性腎臓病（CKD）の患者数は多い

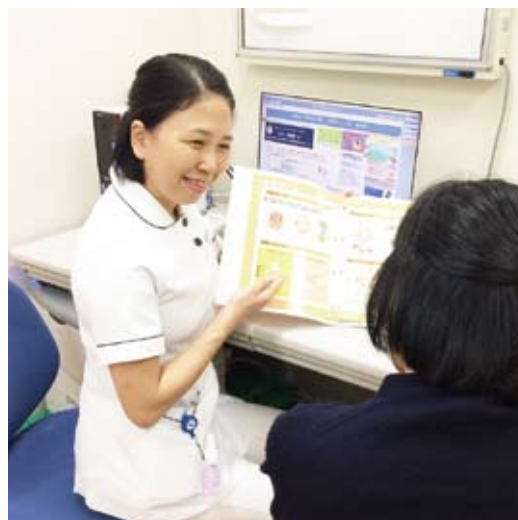
わが国のCKDの患者数は、成人人口の12・9％、約1,330万人と推計され、CKDステージ3以上で蛋白尿が陽性、またはステージ4以上の患者数は106万人にのぼるとされています。

CKD連携パスで多くの方を良好な予後に

CKDの患者数は非常に多いため、かかりつけ医との連携が重要と考えられます。腎臓専門医が診療する期間が長いほど、透析導入後の良好な予後につながるというデータが報告されています。これは、血圧、貧血、CKDで生ずるミネラル代謝異常（CKD-MBD）などの管理が良好となり、それが予後に影響を及ぼすのではないかと推測されています。当院では2014年から積極的にCKD連携に取り組み、福井県で最も多い、120人以上の方をかかりつけ医と連携し、診療しています。腎機能は正常な方でも加齢により徐々に低下しますが、高血圧や糖尿病、脂質異常症、肥満などがあると、早く低下します。腎機能が慢性的に悪くなると、ネフロ



血液浄化療法室



腎臓病看護外来



腎臓・膠原病内科主任医長

荒木 英雄 (あらき ひでお)

■専門分野

腎臓病／血液浄化療法／リウマチ膠原病

■所属学会

日本内科学会総合内科専門医
日本腎臓学会腎臓専門医・指導医
日本透析医学会専門医・指導医
日本リウマチ学会専門医

■ひとこと

AIの発達は瞠目すべきものがあり、医療においても活用が期待されます。音楽が好きな私は、30歳代で早世した大作作曲家であるモーツァルトやシューベルト、ショパンを、AIが50歳代の彼らがどんな曲を作るのか予想することができるのではないか、AIが芸術の世界まで迫れるのかどうかなど、楽しみにしています。

慢性腎臓病の看護外来を開設
最近では医療における意志決定場面に、患者さんが積極的に参加し、医療者との対話を通じて最良の選択を行うSDM (shared decision making) という概念が注目され

多職種が関わる糖尿病透析予防指導が有効
透析導入の原疾患は糖尿病性腎症で、当院でも約40%と最も多く、糖尿病の方の管理が最も取り組むべき課題の一つです。新しい糖尿病治療薬であるSGLT2阻害剤やGLP-1受容体作動薬は、血糖降下作用以外に体重減少、血圧低下、腎保護作用など多面的な効果が報告されてきました。薬物療法だけでなく、食事療法など生活習慣改善に取り組むことなど包括的な取り組みが必要です。当院では、専任の看護師及び管理栄養士による「透析予防診療チーム」により、「糖尿病透析予防指導」を行っています。平成30年度はのべ46人の方に行い、一定の効果をあげています。糖尿病透析予防指導は、多職種が各職種の視点で関わることで生活習慣改善に有効です。

腎臓病は、自覚症状が乏しいことが多いのですが、蛋白尿が多い状態が続くと、将来の腎機能障害や、心血管疾患のリスクが上昇することが知られています。腎臓病の初期から末期まで、できるだけ地域と連携しつつ、取り組んでいきます。

**急性の血液浄化療法が一層充実
先進的な治療にも取り組む**
血液浄化療法室では、急性期を中心とした様々な治療を行っています。2019年4月より臨床工学技士が常駐となり、集中治療室などの緊急の血液浄化療法が一層充実しました。新生児に対する血液浄化療法など厳しい条件の透析療法も成果をあげています。

ています。当院では看護師による慢性腎臓病相談外来を設置し、腎臓病の療養指導、慢性腎不全の療法選択、透析療法についての説明を行い、患者さんの社会的背景などを踏まえて最良の選択ができるようお手伝いをさせて頂いております。外来時間は1人1時間を設けており、わかりにくいことでもしっかりきけるので好評です。二度、三度と受診される方も多くなってきました。

コラム 膠原病も診療の中心！

当科は膠原病も中心に診療しています。最も患者数の多い関節リウマチの診療では1990年代が、非常に厳しい時代でした。現在では治療の進歩により、寛解あるいは低疾患活動性の達成率が目を見張るほど上昇し、隔世の感があります。治療の中心はメトトレキサートとなりますが、寛解をめざして生物学的製剤やJAK阻害剤などの最新の治療を積極的に行っています。

福井県の膠原病内科のトップランナーとして、皮膚科や呼吸器内科と協力しながら診療にあたっています。



特殊血液透析業務



整形外科医長
上田 康博 (うへだ やすひろ)

■専門分野

脊椎脊髄外科、脊椎内視鏡手術

■所属学会

日本整形外科学会専門医
日本整形外科学会
脊椎内視鏡下手術技術認定医
日本脊椎脊髄病学会
脊椎脊髄外科指導医
脊椎脊髄外科専門医
最小侵襲脊椎治療学会評議員

■ひとこと

武生高校出身で金沢大学時代は硬式テニス部に所属しました。週末は長男(高2)、二男(小5)とテニスを楽しんでいます。長男には負けませんが、最近では二男には勝てなくなりました…。二男の県外遠征のため北信越だけでなく東海や関西にも出かけるようになり、試合の後は温泉や現地のグルメを満喫しています。全国大会出場を目標に親子で頑張っています。

シリーズ

ドクターに
ぎぎましたっ!



脊椎疾患に対する低侵襲手術

早期社会復帰が可能に

腰椎疾患では内視鏡手術が主流に

当科では2005年に腰椎疾患に対し

て内視鏡手術(MED)を導入しまし

た。現在では年間に100例以上、これ

までに900例超の内視鏡手術を行いま

した。腰椎椎間板ヘルニアでは一般に3

カ月程度は保存療法を行い、よくならな

ければ手術を選択するとされていまし

が、現在では早期社会復帰のため早期に

手術を行うこともあります。内視鏡手術

は創が小さく、術後の痛みも少ないため

術翌日から歩行が可能となり、通常は術

後1週間で退院出来ます。従来法に比べ

早期の社会復帰が可能になりました。

頸椎疾患への適応拡大や

さらに新しい治療が可能に

頸椎疾患に対しても2014年より内

視鏡手術を導入しました。適応となる病

当科の脊椎手術件数



近年は脊椎手術のうち8割前後が内視鏡手術である。

態は限られますが、従来法に比べ痛みが少なく早期離床が可能となりました。さらに2019年より腰椎椎間板ヘルニアに対するより低侵襲な治療として経皮的内視鏡手術(PED)とコンドリアイゼ(ヘルニコア®)の椎間板内注射を導入しました。低侵襲であっても手術は最終手段であり、病態や適応を十分に見極めた上で最善の治療を提供できるよう努めます。

都道府県がん診療連携拠点病院

福井県立病院 がん医療センター/陽子線がん治療センター

市民公開講座

もっと知ろう がんのこと —血液がん/遺伝医療(ゲノム医療)—

日時

令和2年1月18日(土)

13:30~16:00(開場13:00)

フェニックス・プラザ 2階 小ホール

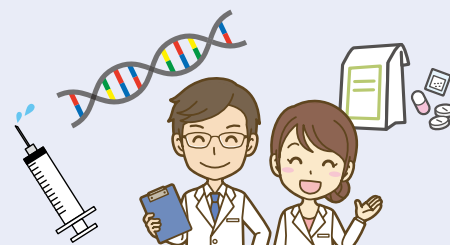
会場

福井市田原1丁目13番6号

※駐車台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関で来てください。

定員

450名
参加費無料



本講演会は、がん向き合っている患者さんやご家族の方はもちろん、一般の方もご参加いただけます。

県民のみなさまが対象です。

お問い合わせ・お申し込み

福井県立病院 経営管理課

〒910-8526

福井県福井市四ツ井2丁目8-1

TEL:0776-54-5151(内線2046)

FAX:0776-57-2945

E-mail:kenbyokouza@pref.fukui.lg.jp

講演
1

安全ながん薬物療法～血液がんを中心に～

福井県立病院 血液・腫瘍内科

医長 森永 浩次

講演
2

白血病と診断されて、一時退院を迎えるまで

福井県立病院 がん化学療法看護認定看護師 木谷 智江

講演
3

がんは遺伝するの?がんゲノム医療って何?

福井県立病院 外科

医長 大田 浩司



呼吸内科主任医長
小嶋 徹 (こじま とおる)

■専門分野

呼吸器疾患全般 / 感染症疾患全般

■所属学会

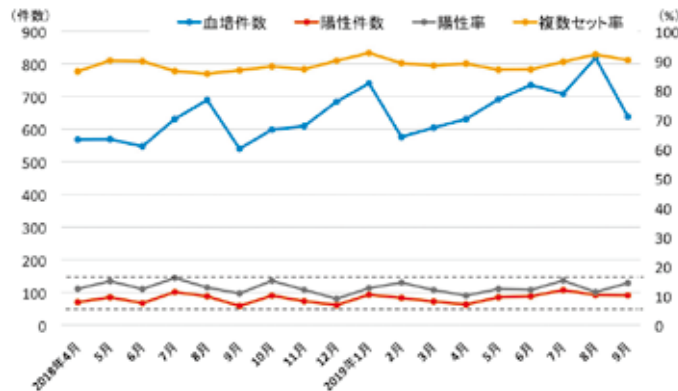
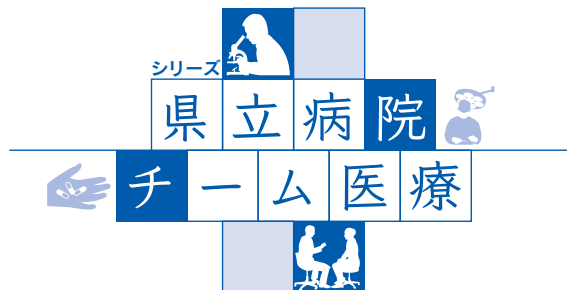
日本内科学会総合内科専門医
日本呼吸器学会指導医
日本呼吸器内視鏡学会指導医
日本感染症学会指導医・ICD
がん治療認定医
日本結核病学会認定医

■ひとこと

最近の趣味は妻とのトレッキングです。来年の目標・北アルプスでのテント泊に向けて日々トレーニングしなければ…と思っています。



AST(抗菌薬適正使用支援チーム)



当院での血液培養の状況です。
年々件数は増加しており、2セット率も90%前後で推移しています。
陽性率も5～15%以内に収まり、精度管理もできています。

平成30年に抗菌薬の適正使用推進の観点から感染防止対策加算が見直されたこともあり、院内の医療チームとして認められました。

前回コンパス53号で取り上げられたICT(感染対策チーム)とASTの違いですが、院内で感染症が発生しないように拡げないように封じ込める『守備チーム』がICTで、発生した感染症へ『攻撃を手助けするチーム』がASTです。両チームが連携することで攻守一体となって感染対策の効果がアップします。

チーム内でも感染症専門医だけでなく、薬剤師、細菌検査技師、感染管理認定看護師がそれぞれの得意な分野で力を出し合って感染症診療を行っています。その一例として毎朝、血液培養陽性となった患者さんについて原因となった菌種、感染した臓器、重症度、投与されている抗菌薬について検討し助言を行っています。これからのスクラムを組んで感染対策に取り組んでいきます。

AST(抗菌薬適正使用支援チーム) 例えるなら感染症の『攻撃チーム』

毎年改訂している当院(地域)で検出された菌腫ごとの薬剤感受性(アンチバイオグラム)の一部抜粋です。
地域の先生方も連携室にご連絡いただければ一覧をお送りしますので、抗菌薬選択の一助として、ご利用ください。

当院における主要な細菌に対する抗菌薬感受性一部抜粋(2018年度データ)

分類	当院採用抗菌薬	略号	ブドウ球菌		肺炎球菌	溶連菌	Enterococcus	
			MSSA	MRSA			faecalis	faecium
ペニシリン系	ペニシリンG	PCG	×		◎	◎	◎	×
	ピクシリン	ABPC	×		◎	◎	◎	×
	スルバシリン(先発:ユナシンS)	SBT/ABPC	◎					
	ピペラシリンNa	PIPC						
	タゾピベ(先発:ゾシン)	PIPC/TAZ						
第1世代セフェム系	セファゾリン(先発:セファゾンα)	CEZ	◎				×	×
第2世代セフェム系	セフォチアム	CTM						
	セフメタゾール(先発:セフメタゾン)	CMZ						
第3世代セフェム系	フルマリン	FMOX						
	クラフォラン	CTX			◎	◎		
	セフトリアキソン(先発:ロセフィン)	GTRX			◎	◎		
	セフトアジジム(先発:モダシン)	CAZ						
第4世代セフェム系	ワイスターール(先発:スルペラゾン)	SBT/CPZ						
	セフェピム(先発:マキシム)	CFPM			◎	◎		
カルバペネム系	メロベネム(先発:メロベン)	MEPM			◎	◎		
	フィニバックス	DRPM						

表の記号等について

◎:90%以上の菌株に対し感受性あり
△:70~79%の菌株に対し感受性あり

○:80~89%の菌株に対し感受性あり
×:69%以下の菌株に対し感受性あり

空欄は、日常検査では感受性を測定していません
推奨抗菌薬を「■」で表示しています

宮地内科

院長 ^{みやじ} 宮地 ^{ひでき} 英生 先生
 医師 ^{さかいみかこ} 坂井美賀子 先生



地域医療に徹し、
福井の医療を高めたい

私は福井市に生まれ、地元の大学病院や県内外の先進的な基幹病院で研修を受け、大学院での研究、僻地医療も経験し、平成15年に福井市花月の地に宮地内科を開業させていただきました。消化器内科、上部消化管内視鏡検査、全大腸内視鏡検査を含め、一般内科を中心に、地域の患者さんの診療をさせて頂いております。昨年12月には、坂井美賀子医師が常勤に加わり、福井大学からの応援の医師と共に、地域医療に徹しております。

また、福井大学医学部の学生さんも研修に来てくださることもあり、活気に満ちたクリニックとなっております。福井市には、福井県立病院を初めとした基幹病院が充実しており、専門医や他の医療機関と協力しながら、福井の医療を高めていこうと考えております。



住所：福井市花月2-9-3
 TEL：0776(30)0011
 診療科：内科 消化器内科
 診療時間：7:30～13:00/14:30～18:30
 ± 7:30～13:00/14:00～16:00
 休診日：日曜、祝日
 URL：https://itp.ne.jp/info/183064231161631430/

松井クリニック

副院長 ^{まつい} 松井 ^{よしのり} 芳憲先生



患者さんの立場で
考えた診療を

江戸時代末期にこの地で開業した当院は、時代の流れや患者さんのニーズに合わせて診療科目やスタイルを変えながら、地域の皆さまの健康維持に貢献してきました。現在は、院長が婦人科・皮膚科、副院長である私が呼吸器科・アレルギー科・総合内科・小児科という医師二人体制で、小児から大人まで一人ひとりにあった最適で皆さまの期待を超えるような医療を提供できるように日々努めています。

当院の幅広い診療科目の中でも、呼吸器科・アレルギー科が私の専門になります。気管支喘息や舌下免疫療法の専門的治療のほか、禁煙外来や睡眠時無呼吸外来、小児の予防接種なども行っております。月曜日から金曜日までの診療時間は19時までなので、仕事帰りにもお気軽にご来院ください。



住所：坂井市丸岡町荒町5番
 TEL：0776(66)8380
 診療科：内科、呼吸器内科、アレルギー科
 小児科、皮膚科、婦人科
 診療時間：9:00～13:00/15:00～19:00
 ± 9:00～13:00
 休診日：日曜、祝日
 URL：http://www.maruoka-matsuiclinic.com/

松田歯科医院

院長 まつだ としお 松田 俊男 先生



病院での多職種連携を経験して

(NST勉強会に参加)

当院は、勝見3丁目の交差点近くで開院して、地域の人々に支えられながら約40年経過しました。開院当初は、虫歯治療や補綴(冠・橋義歯)治療が主体でしたが、数年前より高齢者の受診が増え、診療は義歯関連治療、口腔機能管理に変化しています。

当院では入口に車椅子を用意し、また院内には手すりを設置していますので、診療台まで安全に移動できます。

また感染には十分心掛け、洗浄器、滅菌機、バリアフィルム、滅菌バック、ゴム手袋、使い捨て紙トレイ、紙コップ等の使用で対応しています。

全身管理が必要な外科治療や入院を要するケースの治療には、病院の口腔外科の先生と連携をとりながら、安全安心な治療を心掛けています。

今年度より、県立病院のNST勉強会に参加しており、高齢者の栄養指導について衛生士スタッフと模索しています。地域に根ざしたかかりつけ歯科医院を目指していますので、医療、介護に関して何なりとご相談ください。



住所：福井市勝見3丁目1-14
TEL：0776(25)0300
診療科：歯科、歯科口腔外科、矯正歯科、小児歯科
診療時間：9:00～13:00/14:30～18:30
± 9:00～13:00/14:30～17:00
休診日：木曜、日曜、祝日
URL：http://www.matsuda-dentalclinic.jp

ご報告

地域医療連携医交流会を終えて

2019年度県立病院交流会は、例年の如く11月第4木曜日の28日にザ・グランユーアーズフクイで行われました。11月は市内の4大病院の交流会が集中しますが、今年は県立病院が最後の開催となりました。

講演会は、肝細胞の治療について内科、外科の立場から砂子阪、前田両先生にお願いしました。C型肝炎の克服という肝炎治療における大きな進歩がありました。肝細胞癌の治療も新薬の導入で新しい局面に入っています。こうした現在の話題と、当院ならではのハイブリッド手術室を利用した新しい外科治療についての紹介で大変勉強になりました。

懇親会は、去年よりも30人以上多い200名の皆様のご出席をいただき、例年以上に和気あいあいとした大変な盛会になりました。ご参加いただいた皆様、お忙しい中、ありがとうございます。また来年の交流会でお会いできることを楽しみにしております。

▽ 地域医療連携推進室長(副院長)

吉川 淳



講演会の様子



交流会にて
福井県医師会会長
池端幸彦先生 挨拶



交流会の様子

教えて 看護師さん vol.7

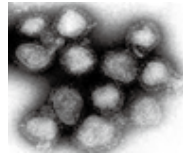


感染管理
認定看護師
しらさき とも え
白崎 智恵

『インフルエンザ予防のためにできること』

ちよこつと解説

今年9月のインフルエンザ患者数は、例年の同時期に比べると約10倍前後になっており、すでに警報発令や流行宣言が出されている県もあります。今後、全国的な流行へと進んでいく可能性も高いと考えられ、『予防のためにできること』に取り組むことが大切です。



インフルエンザは どのように罹かるの？

「飛沫感染」と「接触感染」によって拡大していきます。図1

予防のためにできること

1 流行前のワクチン接種

ワクチンの効果が出るまでには、接種から2週間の期間を要し、効

果が持続する期間

は約3～5か月間

とされています。



流行前の10～11月までの接種がお勧めです。ワクチン接種すれば絶対にかからない…というものではありませんが、発病を抑制する効果があり、かかっても症状が重くなることを阻止する効果があります。

2 手洗い 接触感染予防

3 うがい、適度な湿度の保持

4 十分な休息とバランスのとれた栄養摂取

5 人混みや繁華街への外出を控える
外出時には「咳エチケット」を
忘れない 飛沫感染予防

この時期、重要なマナー 「咳エチケット」

○咳やくしゃみが出る時には、人がいる方を向わずに距離を置く

○素手で覆わずにティッシュを口に
あて、鼻水・痰がついたティッシュ
はすぐにゴミ箱に捨てる

○マスクを鼻から顎まで覆い、正し
く着用する

○肩や袖で、口・鼻を覆う



インフルエンザかな？ と思ったら

インフルエンザウイルスは増殖のスピードが速いため、症状が急速に進行します。急な高熱がみられ、単なる風邪だと軽く考えずに、早めに医療機関を受診しましょう。インフルエンザは発症後48時間以内に適切な治療を開始することが重要です。

また、インフルエンザはウイルスが体内に入ってから1～2日間後に発症します。家族・友人などお近くの方が罹患された場合には、自身も発症するかもしれないと意識し、周りの人に拡げない注意が必要です。

今後の流行情報等については「福井県感染症情報」ホームページをご覧ください。



図1 飛沫感染 接触感染

地域医療連携推進室

TEL (0776)57-2900

FAX (0776)57-2901

救命救急センター

TEL (0776)57-2990 FAX(0776)57-2991

電話対応 月～金/8:30～18:00 土(紹介予約受付)/8:30～12:30
祝日および年末年始(12/29～1/3)を除く



HP <http://fph.pref.fukui.lg.jp/>

スマートフォンからは
こちら→



発行

福井県立病院 情報発信力強化委員会

〒910-8526 福井市四ツ井2丁目8-1 TEL (0776)54-5151(代) FAX(0776)57-2945